

「鳥取市 Smile 月間」の取り組みについて

鳥取市立鹿野学園

1. 「いじめのない学校」「みんなが笑顔で過ごせる学校」をテーマに、全校児童が道徳や学級活動の時間に人権について学び、標語に表す。

作品の中から、各学年3～4つ選んだものを廊下に掲示し、お互いに作品を見合う。

つくろうよ みんながすきな がっこうを（1年）

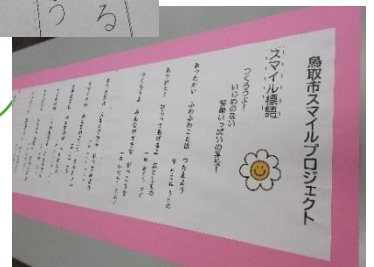
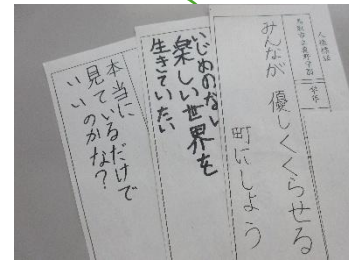
すてきだよ 人をたすける やってみよう（2年）

いじめはね いつか自分を こまらせる（3年）

言う前に 本当にいいのと 考える（4年）

「だいじょうぶ」 一人にしないよ いっしょにいこう（5年）

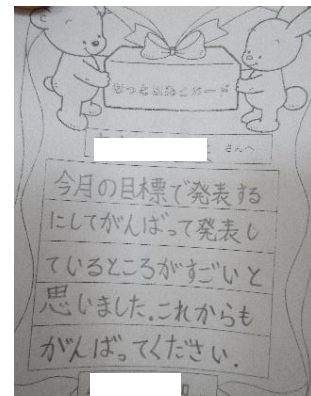
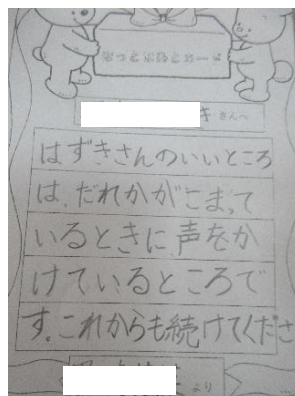
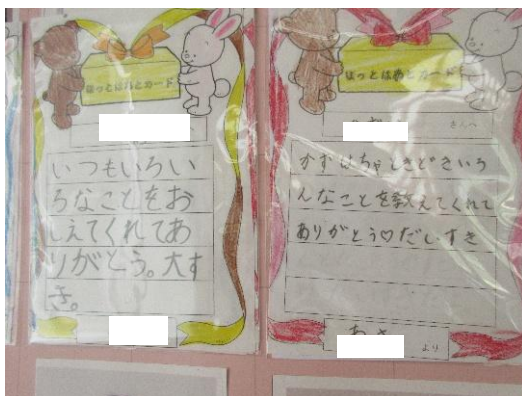
抜粹



2. ほっとはあとコーナー(互いのよさを認め合う時間作り)の充実

学年ごとに互いの良さや、得意なところ、行事での活躍など伝え合う時間を大切にする。

毎月10日を「ありがとうの日」に設定して、給食時間にカードの内容を放送する。

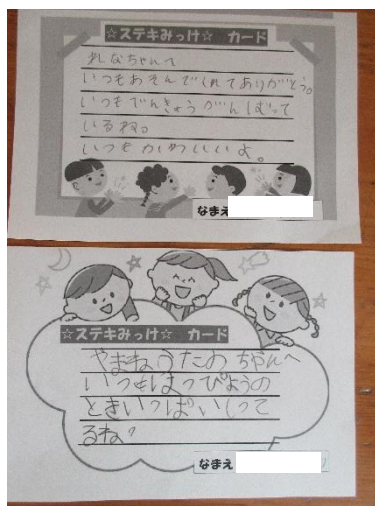


掲示し、常時見合えるようにする。

3. 学活の時間や委員会の活動を生かした「あったかい言葉」を大切にする学び

1年生の学級活動の時間に「あったかことば」について考える学習を行った。どんな言葉があったか言葉なのかを出し合い、お互いに嬉しくなったり、気持ちよく生活できたりする言葉について考え、常時掲示して意識できるようにした。

放送委員会は、「ステキみつけカード」を全校が休憩時間などを利用して書けるように置き、その書いたものを委員会の児童が毎日読み上げている。読まれた児童がいる学級では、拍手が起こり、温かい気持ちが広がっている。



4. 行事等を通じた異学年交流

交流を通して感じたことや学んだこと、相手への感謝の気持ちをメッセージにして送りあった。自分の思いを表現するだけでなく、相手の立場や気持ちを考えながら伝える経験を積むことを通して、思いやりの心を育むよう取り組んでいる。



教室や廊下に掲示している。



5. 「いいとこみつけ」の取組

9年生で友達のよいところや頑張っている姿を見つけ、掲示している。お互いの良さを認め合うことで、自己肯定感や思いやりの気持ちを育む機会としている。

